

検査ニュース

No.120

ご挨拶

平素より、佐賀県医師会成人病予防センター業務には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
今回は、「新規実施項目」についてご案内申し上げます。

佐賀県医師会成人病予防センター
担当理事 志田 正典

● c-kit 遺伝子変異解析 (GIST)

c-kit 遺伝子 exon9 および exon11 の変異を解析します。

GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor : 消化管間質腫瘍) は消化管に発生する間葉系腫瘍の大半を占める腫瘍で、その80~90%にみられるc-kit 遺伝子の変異が一因とされています。変異のタイプは、欠失や挿入、点突然変異など様々で、変異部位はexon11が70~80%と最も多く、次いでexon9が約10%にみられます。近年、これらの変異部位と患者の予後、分子標的薬への効果などとの関係が報告されてきています。例えば、exon11変異例はGISTの薬物療法の第一選択薬であるイマチニブの奏効率が高いことが知られています。

c-kit 遺伝子変異の検出は、GIST の診断や治療法選択において、有用な情報と考えられます。

検査項目	検体量	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値及び単位	備考
c-kit遺伝子変異解析 (GIST)	未染標本 スライド 5~10枚	11~23	2000 ※1	ダイレクト シーケンス法		

※1 : 尿・糞便等検査判断料

臨床検査の精度管理調査報告会について

(調査実施日 : 平成 23 年 10 月 19 日)

日常診療において測定された検査結果が他の機関と比較して同じ測定値を示しているのか、正しく測定されているのか、確認するのは日常ルーチンを行っている中、たいへん難しい問題だと思います。

調査対象機関(佐賀県臨床検査技師会会員所属施設)を対象として昭和63年度より、臨床検査精度管理調査を開始いたしました。また、平成15年度(第16回)からは臨床検査技師以外の方が検査(血球算定等)を担当されている医療機関(一般参加機関)にも参加していただくようになり、参加されている機関では他の医療機関との比較、正確性の確認が可能になったと思います。毎年3月には調査報告会を実施し、県内の臨床検査の精度の向上、維持を図っております。

多くの方々に参加いただき、佐賀県内の『どの機関で測定しても同じ測定値』であることの基本理念が共有できますように、ご協力いただけたら幸いです。

第24回(平成23年度)佐賀県医師会臨床検査精度管理調査報告会

日 時 : 平成24年3月17日(土) 午後2時~

場 所 : 成人病予防センター 3階 講堂